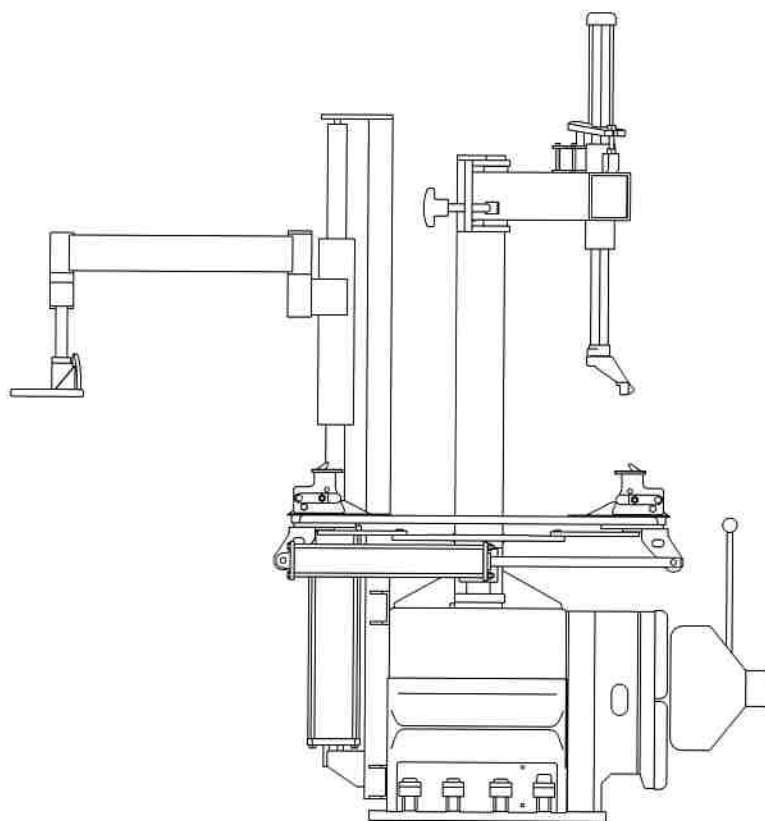


取 扱 説 明 書

MC.TIRE CHANGER MC-200 / 200M



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1)一般的な注意事項	2
(2)警告ラベルの貼付位置・内容	3
4. 各部の名称と機能	6
(1)各部の名称と機能	6
(2)電気回路図	7
(3)空圧系統図	7
5. 取り扱い方法〔基本仕様〕.....	8
(1)始業点検.....	8
(2)操作ペダルと各部の動作	8
(3)ビード落とし	10
(4)チャッキング.....	10
(5)タイヤ爪セット	10
(6)ディマウント	11
(7)マウント	11
(8)エア充填	12
6. 取り扱い方法〔オプション仕様〕	
マウントプレス装置〔200M〕	13
7. 定期点検	14
8. 故障と処置	17
9. 仕 様	18
10. 製品保証規定	19
(1)保証規定	19
(2)保証請求方法	19
(3)アフターサービスについて	20
(4)設置(据付)及び移設について	20

1. まえがき

この度は弊社の「**二輪用タイヤチェンジャー**」をお買上頂き、誠にありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用
ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、本機の適
正な能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、
充分なご理解のうえ、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書はいつでもご使用になれるように大切に保管しておいてください。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き、万一紛失・汚損された場合に
は、速やかに購入の上、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

このタイヤチェンジャーは、モーターサイクル及びスクーターのタイヤ交換を行うことができ
るタイヤチェンジャーです。

(2)警告ラベルの貼付位置・内容

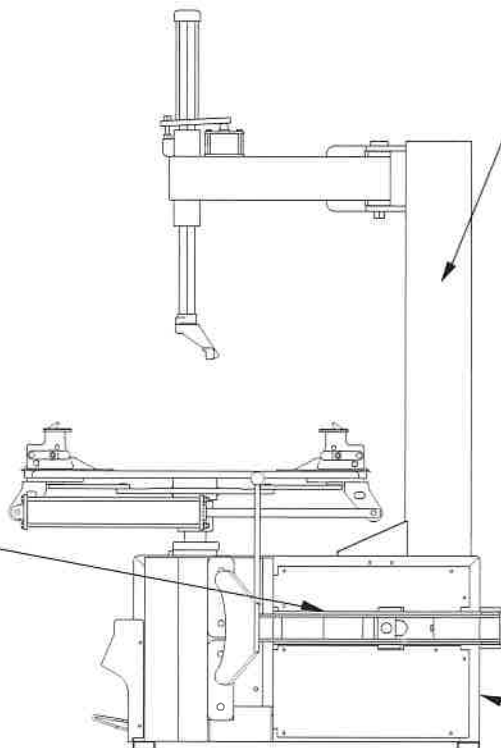


注 意

警告ラベルが紛失・汚損により読めなくなった場合は、直ちに購入し、正規の位置に貼付してください。

- 警告ラベル不備状態で、タイヤチェンジャーを使用しないでください。
- 全ラベルが、作業から目視可能な位置に貼付してください。

危険・警告・注意ラベル貼付位置



⚠ 注 意
回転部分に注意 誤った操作方法によりターンテーブル部に巻き込まれ、挟まれる恐れがあります。
ビードブレーカーに注意 誤った操作方法によりビードブレーカーに挟まれる恐れがあります。本体とビードブレーカー間に手を入れないでください。
ビードブレーカーに注意 誤った操作方法によりビードブレーカーに挟まれる恐れがあります。本体とビードブレーカー間に手を入れないでください。

⚠ 警 告	
操作方法を熟知した人以外は使用禁止 誤操作により思わぬ事故の危険性があります。	エアの入れすぎ禁止 指定空気圧を確認し、入れすぎないこと。バーストにより重大事故につながる可能性があります。
ターンテーブルに手を乗せないこと 回転時に手を絡めたり、チャッキング時に指をはさむ危険性があります。	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。
ここに示す警告事項は、タイヤチェンジャーの取扱方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。	

⚠ 注 意	
感電注意 コンセント脱着時、感電注意!	感電注意 必ずアース線を接続すること。

警告ラベル内容

※下記警告ラベルがプレーカーアーム上面に貼付されています。

 注 意

回転部分に注意 誤った操作方法によりターンテーブル部に巻き込まれ、挟まれる恐れがあります。

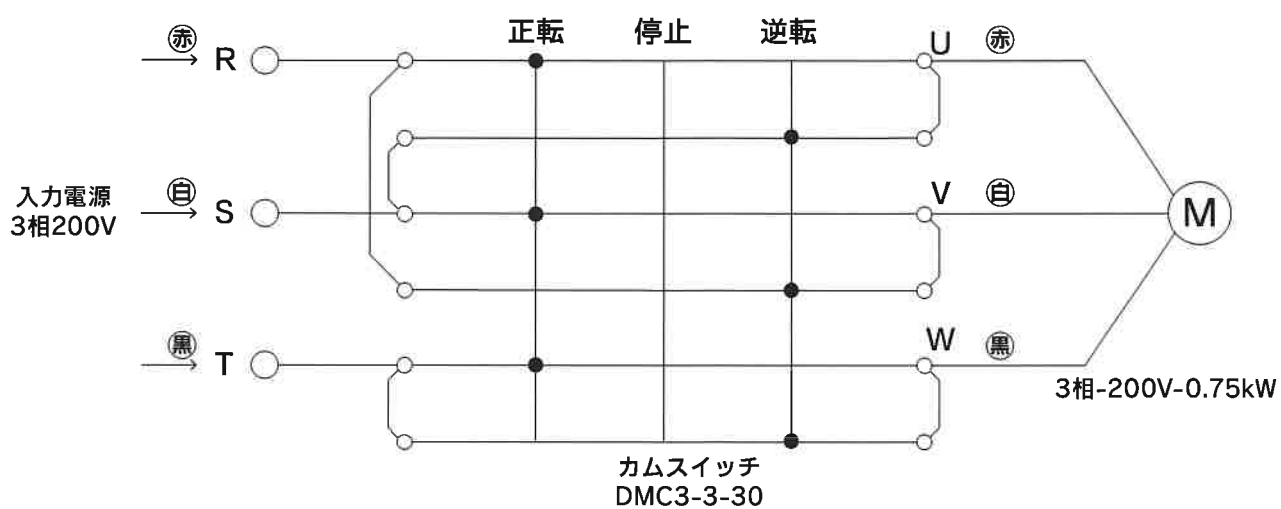
ビードブレーカーに注意 誤った操作方法によりビードブレーカーに挟まれる恐れがあります。本体とビードブレーカー間に手を入れないでください。

ビードブレーカーに注意 誤った操作方法によりビードブレーカーに挟まれる恐れがあります。本体とビードブレーカー間に足を入れないでください。

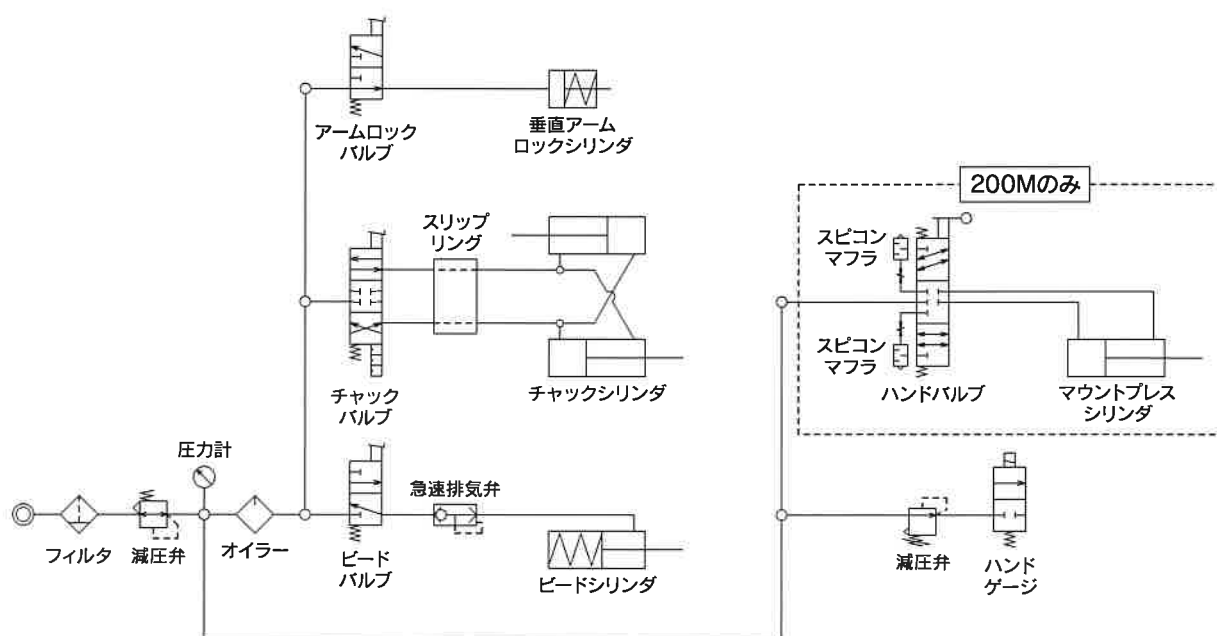
※下記警告ラベルが本体フレーム背面に貼付されています。

 警 告	
	
感 電 注 意 コンセント脱着時、感電注意！	感 電 注 意 必ずアース線を接続すること。

(2)電気回路図



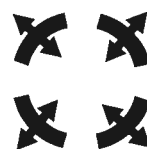
(3)空圧系統図



②チャッキング

一度ペダルを踏むとチャック爪は閉じ、再度ペダルを踏むと開きます。

チャック爪を閉じる動作の際、軽くペダルを踏むと中間位置でストップします。



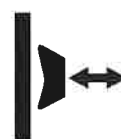
警告

チャッキング操作の際、テーブル板上に手を乗せないよう注意してください。
テーブル溝とスライダーの間に指をはさむ危険性があります。

③ビードブレーカー

ペダルを踏み込むと、ビードブレーカーが作動し、離すと戻ります。

また、ペダルを途中で止めるとビードブレーカーが任意の位置で止まります。



警告

チェンジャー使用時にチェンジャー本体とビードブレーカーの間に体を入れな
いよう注意してください。ブレーカーに体をはさまれる危険性があります。

④ターンテーブル回転

ペダルを踏み込むと、ターンテーブルは正転(時計回り)し、
押し上げると逆転(反時計回り)します。



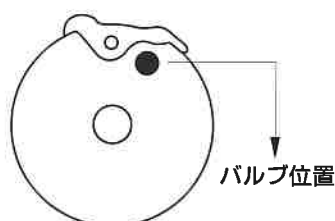
警告

ターンテーブル回転時、テーブル板上またはスライダー、チャック爪等の上に
手を乗せないよう注意してください。手を絡まれる危険性があります。

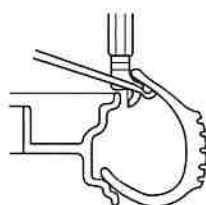
(6)ディマウント

- ①ホイールのバルブ位置を (A)図の様にタイヤ爪の位置にセットします。
- ②タイヤレバーで (B)図の様にフィンガー部をテコにしてビードをめくり上げ、ビード部を完全にタイヤ爪の上へのせます。ビード部がタイヤ爪の上に乗りにくい場合は、ターンテーブルを僅かに逆転させてください。
- ③タイヤレバーを抜き取りターンテーブルを正転させれば、ビード部はホイール部からディマウントされます。この時 (C)図の様にタイヤ爪側を持ち上げ反対側を押し下げると、硬いタイヤも無理なくスムーズにディマウントできます。

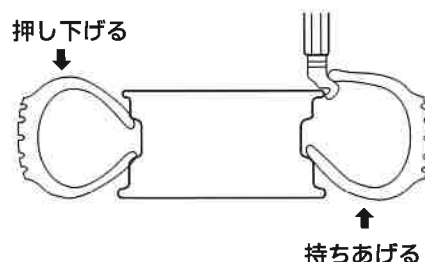
【A図】



【B図】



【C図】



- ④下部ビードの場合も上側と同様の操作を行いディマウントします。



注 意

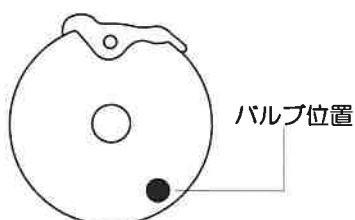
タイヤレバーでビードをめくり上げたあと、レバーを抜かずに正転を行うとレバーがホイールに接触し、ホイールを損傷する恐れがありますので、必ずレバーを抜いてから正転を行ってください。

また、タイヤ損傷防止のため、タイヤ爪の反対側がドロップ部に落ちていることを確認しながらディマウントしてください。

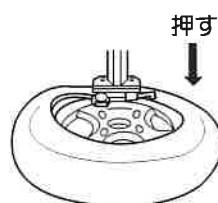
(7)マウント

- ①ホイールのバルブ位置を (D)図の様にタイヤ爪の右方向約150°の位置にセットします。
- ②タイヤ爪をセットし(5項参照)ビード部をタイヤ爪左側のつばの上に乗せ、右側のフィンガー部下へ押し込みながら、ターンテーブルを正転させマウントします。
この際 (E)図の様にタイヤサイド部をホイールのドロップセンターに押し込んでください。
- ③上側ビード部も同様にマウントします。

【D図】



【E図】



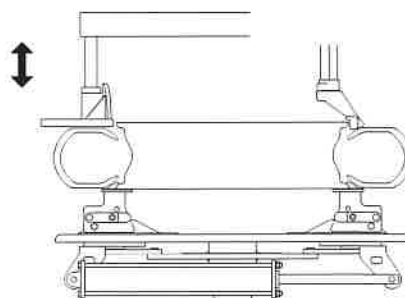
6. 取り扱い方法〔オプション仕様〕

マウントプレス装置（200M）

（1）マウントプレス操作

超扁平タイヤの組込みは回転中にビードがめくり上がる場合がありますが、マウントプレス装置を併用すると、よりスムーズな組込みを行うことができます。

- ①ハンドバルブでマウントプレス板を上昇させます。
- ②アームを回転させ、マウントプレス板をタイヤ爪右側の位置でホイール径に合わせます。
- ③ハンドバルブで、マウントプレス板がビード部をドロップセンター位置に押し下げる位置まで下降します。
- ④その状態でターンテーブルを回転させると、マウントプレス板がタイヤ回転と一緒についていき、スムーズな組込みが行えます。



注 意

マウントプレス板でタイヤを押さえてのテーブル回転は、マウントヘッドに干渉する前で停止し、上側に逃がしてください。



警 告

タイヤサイド面にタイヤクリームを塗ると、マウントプレスでタイヤを押さえ回転していく際に、マウントプレス板がタイヤから滑り外れ、アームが飛んでくる場合があります。

また、タイヤサイド幅が非常に薄い扁平タイヤを押さえる際にも同様の症状が起こる可能性があります。

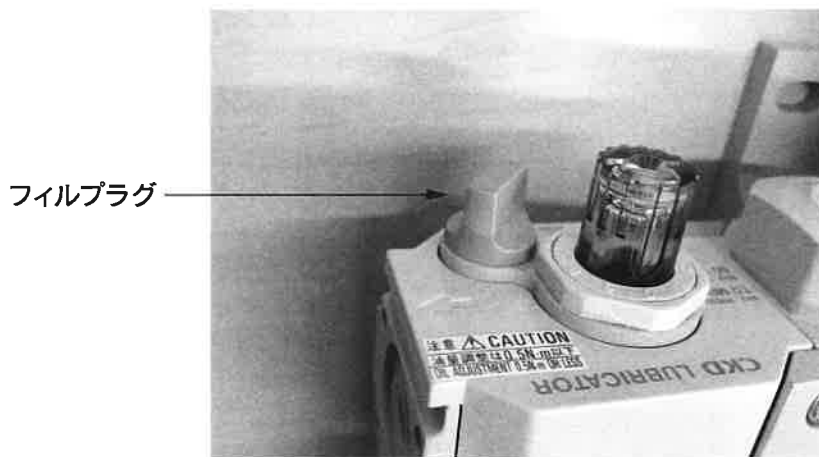
【ルブリケータの油の供給(L3000タイプ)】 使用油:タービン油(ISO VG32)

ルブリケータに油を供給するには2通りの方法があります。

① フィルプラグから供給する場合

フィルプラグから油を供給する場合には加圧状態でも供給が可能です。

フィルプラグを回し取り外すとボウル内の圧力が抜けます。



② ボウルから供給する場合 (※ 加圧時供給不可)

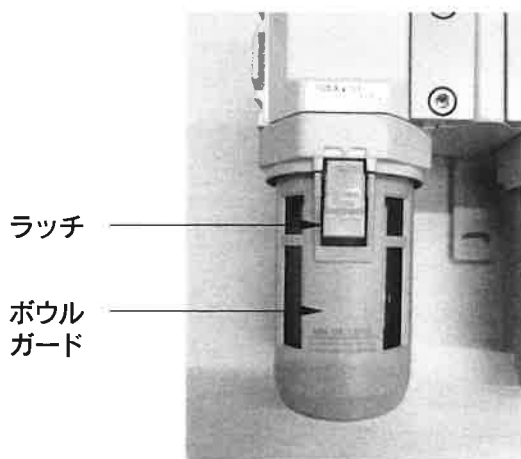
圧縮空気を止めて、製品内に圧力がないことを確認したうえで、ボウルを取り外します。

・ラッチを指で押しながらボウルガードとボウルを約45°(ラッチの△マークがボディの△マークに合うところまで)回します。(図Ⅰ・Ⅱ 参照)左右どちらに回しても可。

・そのまま下方に引き抜けば、ボウルとボウルガードが一緒に外れます。(図Ⅲ参照)

・組み立てる時は、分解の逆の要領で行います。

・圧縮空気を入れる時に、ラッチがボディの凹部に確実に入っていることを確認してから入れてください。(図Ⅰ 参照)



図Ⅰ



図Ⅱ



図Ⅲ

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合のある場合はお買上げの販売会社へご相談ください。

症 状	点 検	処 置・修 理 (修理は販売会社へ連絡)
回転ペダルを踏んでもターンテーブルが回らない	モーターは回っているか YES NO モーターが単相運転になっていないか YES NO 正転または逆転しかしていない YES	Vベルトを張る 電源および電源コードを調べる カムスイッチの入切調整または交換
チャッキングペダルを踏んでもチャッキングシリンダーが作動しない	シリンダーまでエアが来ているか YES NO スリップリンクまでエアが来ているか YES NO チャッキングバルブまでエアが来ているか YES	エア洩れがないか調べる シリンダーのパッキン交換 ストップリングの分解掃除 またはOリング交換 エアバルブの分解掃除 または交換
ビードブレーカーペダルを踏んでもビードブレーカーが作動しない	シリンダーまでエアが来ているか YES NO ビードバルブまでエアが来ているか YES	エア洩れがないか調べる シリンダーのパッキン交換 エアバルブの分解掃除 または交換

10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

**このタイヤチェンジャーは屋外設置及び防水仕様になっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。
必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

取扱説明書

品 名 **二輪用タイヤチェンジャー**

型 式 **MC-200 / 200M**

初 版 発 行 月 日	令 和 2 年 6 月 1 日
-------------	-----------------------------

改 訂 発 行 月 日	年 月 日
-------------	-----------

改 訂 発 行 月 日	年 月 日
-------------	-----------

改 訂 発 行 月 日	年 月 日
-------------	-----------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-------------------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず。



ONODANI 小野谷機工株式会社



本社／ 福井県越前市家久町63-1 ☎0778-22-2124

札幌営業所	☎011-791-8588	仙台営業所	☎022-255-7408	秋田営業所	☎018-800-2556
東京営業所	☎03-5970-6011	新潟営業所	☎025-281-8251	名古屋営業所	☎052-354-1021
福井営業所	☎0778-21-0335	大阪営業所	☎072-337-5056	広島営業所	☎082-573-5012
四国駐在	☎082-573-5012	福岡営業所	☎092-582-6743	沖縄駐在	☎092-582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。